

スタッフニュース



▲▼伊能忠敬記念館



千葉県ゆかりの人物をたずねて 生涯学習の先人 伊能忠敬

伊能忠敬は、今から約200年前の江戸時代後期、約17年の歳月と測量距離約40,000km（地球約1周分）をかけて、実測による日本地図を初めて作りました。伊能家（香取市佐原）を49歳で隠居するまで、当主として家や村のために活躍し、その後江戸に出て、高橋至時（たかはし よしとき）に師事して55歳から全国測量を開始したのですが、実は佐原にいるときから測量や天体観測など暦学の勉強をしています。第2の人生をスタートさせるのにあたり、前もって入念な準備をしていました。

香取市佐原にある伊能忠敬記念館では、忠敬の生涯や測量器具、世界が驚嘆した伊能図を紹介するため「佐原時代」「全国測量」「伊能図の完成」の3つのコーナーに分けて展示しています。最近では生涯学習の先人として伊能忠敬が注目されていますが、みなさんそれぞれの生涯学習を行うために、公民館や博物館活動がそのきっかけになればと思います。江戸時代から続く佐原の伝統的な町並み散策とともに記念館を訪ねてください。

伊能忠敬記念館ホームページ <http://www.city.katori.lg.jp/museum/>

平成19年度県公連総会を開催

5月24日、千葉市の千葉県総合教育センターにおいて148人の出席者を得、平成19年度千葉県公民館連絡協議会（＝県公連）総会を開催しました。

総会では県公連小澤正一会長あいさつの後、長年の公民館事業への貢献に対し功績表彰を行い、今年度は11人の公民館運営審議会等の方々に感謝状を、12人の永年勤続職員に表彰状を贈呈しました。

議事は、第1号議案の平成18年度事業報告、第2号議案の平成18年度歳入歳出決算報告と会計監査報告、第3号議案の平成19年度事業計画（案）、第4号議案の平成19年度歳入歳出予算（案）、第5号議案の役員の承認について、すべてが原案通り可決されました。特に平成19年度事業計画においては、第49回関東甲信越静公民館研究大会（兼第60回千葉県公民館研究大会）の平成20年度開催にむけて、県公連組織を挙げて取り組むことが決議されました。

県公連の役員体制については、朱膳寺宏一会長のもと新しい体制でスタートを切ることとなりました。最後に、任期満了及び定年退職によりその職を辞された、小澤会長の長年の功績に対し表彰状を贈り、その労をねぎらいました。



総会終了後には、館長部会・主事部会・研究委員会・広報委員会・研修委員会にわかれての各部会・専門委員会会議が行われ、それぞれ新年度の執行体制、活動計画についての話し合いがもたれました。

県公連事務局ならびに各部会・専門委員会とも、意欲的にそれぞれの活動に取り組んでまいりたいと考えておりますので、みなさまのご支援とご協力をお願いします。

第49回関東甲信越静 公民館研究大会に向けて

第49回関東甲信越静公民館研究大会（＝関プロ大会）が、平成20年度、千葉県公民館連絡協議会主管のもとで開催されます。

県公連では、来年8月21日・22日の開催にむけて、現在、三役及び事務局を中心に千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、そして第38回関プロ木更津大会（平成9年度に実施）経験者を交えた拡大三役会をもち、企画準備を進めています。教育をめぐる状況がきびしい中、公民館の本来あるべき姿、住民にとって本当に必要な公民館の姿を探れる大会に、そして何より千葉県公連らしさをアピールできる大会にしようと、議論を重ねているところです。

秋には、県公連役員会組織を基盤とした大会実行委員会を立ち上げ、具体的な準備に入ります。千葉県内公民館職員のみなさんの力を結集することが、成功の鍵となります。ご協力をよろしくお願いします。

よろしくおねがいします

県公連役員（以下、枠内すべて敬称略）

- 【会長】 朱膳寺宏一（船橋市北部公民館）
- 【副会長】 宍倉一成（千葉市稲浜公民館）
堀切公雄（市川市公民館センター）
伊藤公夫（野田市中央公民館）
- 【事務局長】 高梨晶子（浦安市堀江公民館）

各部会長・専門委員長

- 【館長部会長】 左近正久（銚子市市民センター）
- 【主事部会長】 鈴木和代（木更津市立畑沢公民館）
- 【研究委員長】 岩澤英樹（市川市公民館センター）
- 【広報委員長】 稲岡正道（浦安市当代島公民館）
- 【研修委員長】 高瀬義彰（松戸青少年会館）

県公連事務局

- 【事務局長】 高梨晶子（浦安市堀江公民館）
- 【事務局次長】 小谷正則（千葉市松ヶ丘公民館）
- 【書記】 大槻泰之（佐倉市和田公民館）
- 【会計】 神谷純子（野田市野田公民館）

新しい県公連会長・県公連事務局長からのごあいさつ

県公連会長



ご協力とご支援を
お願いします

朱膳寺宏一さん
(船橋市北部公民館長)

私の勤める船橋市北部公民館は、船橋の北西部、アンデルセン公園近くの自然豊かな地域にあります。アンデルセン公園では、この10月2日から11月4日まで「全国都市緑化フェア」～花フェスタ イン ふなばし～が開催されます。花フェスタにご来場の際には、どうぞ北部公民館にもお立ち寄りください。

私はこれまで、県公連には研究委員会委員や事務局員として、また単位公連にも旧船橋地方公連時代にかかわってきました。今年度、県公連会長としての役割をおおせつかりましたが、こうした経験を活かしながら、研究大会や各専門委員会・単位公連の活動が活発になるよう、みなさま方のお力をいただき、その環境づくりに努めていきたいと思っております。

また来年度は関プロ大会が本県で開催されます。本県の公民館研究大会としても、昭和27年度の開催から数えて60回目という、記念すべき大会になります。昨年12月の教育基本法改正を受け、社会教育法の改正も間近に迫っていると聞いております。一方、平成の大合併も、本県では来年4月、茂原市を中心とした長生地方の合併で一段落する予定です。こうした意味でも来年度の関プロ大会は、節目の大会になると思っております。

この関プロ大会をはじめとする県公連の諸活動に対し、みなさま方とともに、全県を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。今後とも、みなさま方のご協力とご支援をお願いいたします。

県公連事務局長



みなさんと一緒に
公民館を元気に！

高梨晶子さん
(浦安市堀江公民館長)

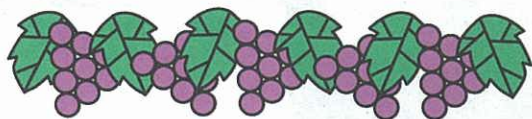
県公連事務局長をおおせつかり、その職責の重さをひしひしと感じています。県公連事務局の「舵取り」の任務を与えられたわけですが、自らの一言ひとことに責任が出てきて…。県公連の円滑な運営、各組織との連携がよりよい形で進むと良いなあと思いつつ、身の引き締まる思いを味わっています。

県公連を構成する各単位公連では、それぞれに課題を抱えているところがあり、公民館自体もいろいろ厳しい局面に立たされています。そしてその背景にあるそれぞれの事情となると、解決にむずかしさも感じています。よい形でみなさんのサポートをしていきたい、公民館をみんなで守っていきたくて願っています。

外に出ると、千葉県内の公民館のみなさんが、よく協力しあえていることがよくわかります。これは県公連事務局長として、他県公連の様子などを知る機会があつて初めてわかつたことです。この長所を活かし、今後も各研修機会の充実と高まりを期待しています。みなさんもチャンスがあつたら、ぜひいろいろな研修の場に参加し、その成果を持ち帰って日常に活かすこと、そして研修に参加できないみなさんにも伝えていただくことを、お願いしておきたいと思っております。

住民が主体の公民館…。これは言うまでもないことですが、住民をサポートする公民館職員の力も大切であると思っております。みなさんの力を合わせ、公民館を元気にしていきましょう。

主事部会第115回研修会のお知らせ



テーマ 公民館事業の企画と進め方
～地域に根ざした公民館事業とは～
講師 国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部
総括研究官 立田慶裕(たつたよしひろ)さん
日時 9月27日(木) 13:20～16:10
会場 千葉市新宿公民館 講堂

※詳しくは、別に配付される開催要項をご覧ください。

広報委員会からのお願い

広報委員会は、各地区公連から選出された10人の委員で構成しています。前任者ゼロ、血液型Oの委員が多すぎる…? など、不安材料もありますが、耳よりの情報がありましたら、どしどし下記の広報委員までお知らせください。よろしくお願ひします。

千葉市	永野雅子	千葉市朝日ヶ丘公民館
葛南	福岡正道	浦安市当代島公民館
東葛飾	関正人	鎌ヶ谷市中央公民館
印旛	齋藤孝一郎	印西市そうふけ公民館
香取・海匝	鈴木優子	香取市山田公民館
山武	石井秀樹	大網白里町中央公民館
長生	片岡秀樹	白子町公民館
夷隅	江澤重美	いすみ市夷隅公民館
安房	日暮素康	館山市中央公民館
君津・市原	柴崎和之	富津市市民会館

主事部会第114回研修会 公民館と地域をつなぐ広報のあり方

7月24日(火)、県公連主事部会第114回研修会が、千葉市おゆみ野公民館で開催されました。講師は君津市八重原公民館副館長の八鍬貞一さん、千葉県内の公民館職員50人が参加しました。今回のテーマは『公民館と地域をつなぐ広報のあり方』。様々な広報の中でも「公民館だより（館報）」について、その役割や重要性、紙面作りのポイントや取り組み方法など、八鍬さんの実体験も交えながら、熱意ある貴重なお話を伺う事ができました。



◀講師の八鍬さん

まず「広報」とは何か。広く知らせることの意味の他に「多くの人と関係を持つこと」「聴くこと」という意味もあるそうです。つまり、広報の命である取材（聴くこと）を通し、多くの人との良い関係を持つことで、信頼関係を作り、公民館にとって大切な『住民と住民をつなぐ結び目』の役割になるのです。

講義中、参考資料として、八鍬さん自らが編集に携わって作られたご自慢の館報を、何部か見せていただきました。拝見していて気づいたのは、地域の情報や名所、住民を中心として、一人ひとりにスポットを当て、写真や取材した記事を多く載せてあった点です。公民館のサークルの紹介や講座のお知らせをする事だ

けが館報ではない、地域のどんなものも大事な情報になるという事を教えられました。公民館利用者も、そうでない人も主役になる事ができます。見えない人との意見交換や交流ができ、地域の活躍の場や生き様を、住民の数だけ見る事ができるのです。

ある住民にとっては、館報が唯一の情報源であり、生活に欠かせないものとなっているという事も考えられます。「館報」の魅力は、無限大に引き出せるのです。（但し、こうした内容の館報を少しでも多くの住民に配布しなければ、意味がナイですよ！）

八鍬さんの講義の中で「できることから始めてみてください。そして『光民館』を目指してください」という言葉が強く印象に残りました。私たち公民館職員にとって大切な



ことは、まず地域と住民に興味を持つこと。輝きの瞬間をとらえ、新しい情報・課題を広く伝え、住民同士のつながりを作

▲熱心に耳を傾ける参加者

ることです。館報を作成されるにあたり、悩む部分は多々あると思います。職員の個性を生かし、読むのが楽しみだと感じていただけるような館報作りを…。住民が自分の住む地域を、もっと好きになってくれるのではないかと思います。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております 第59回千葉県公民館研究大会

11月15日に開催の第59回千葉県公民館研究大会。実行委員会事務局長をお務めの市川市公民館センター・深尾武司さんに、お話をうかがいました。

「果たして、十分な研究大会の運営ができるのか？」という不安を抱えながら、葛南公連の5市が力を合わせて準備を進めています。8月を迎えた今、第1回目の分科会担当者会議を行うなど、実行委員会のそれぞれの部会も、徐々に11月15日の大会開催に向けて見通しが持てるようになってきました。

今回のテーマは「いま、公民館に新たな息吹を！」～人と地域社会に豊かさを求めて～ としています。公民館運営の課題を見つめ、できることを着実に具体的に取り組んでいけるように各地域での実践を共有し、みなさまに参加して良かったと思っただけ



▲会場の市川市行徳文化ホール

◀ホール内容席

ような研究大会にしたいと思います。県北西部・市川での開催となり、何かとご不便をおかけしますが、県内各地から多数のみなさま方のご参加を心よりお待ちしております。

研究大会の詳細については、各地区公連事務局から先に配付の大会開催要項をご覧ください。

館長

4月に着任して…

東金市中央公民館 館長 齋藤恒治さん

東金市役所の南に建つ3階建の建物が私の勤務する東金市中央公民館です。2階・3階が公民館で、1階は児童館です。職員は私と主事の2人で、2人とも今年の4月に着任したばかりです。公民館の休館日は月曜日としている施設が多く見られるなか、私どもの公民館休館日は年末年始の12月29日から1月3日のみです。それ以外の日は、午前9時から午後9時まで開館しています。しかし職員は毎日勤務しているわけではなく、土曜日・日曜日・祝日は休みです。

さて、どのような主催事業を行っているかといいますと、本年度は、野草散歩・郷土歴史学習会・園芸教室・子ども将棋教室など24講座を企画、実施してきています。対象層別では成人向け講座のほか、小・中学生向けの講座、親子向けを合わせて、10数講座企画しています。7月末から8月は、小・中学生を対象とし

た講座が7講座あり、水彩画教室・陶芸教室が小学生に人気があります。どうも夏休みの宿題を、公民館の講座に参加して作成してしまおうということのようです。

施設が昭和53年に建設されたものであるため老朽化が著しく、利用者には不便をかけている部分もありますが、地区行事やサークル活動にと、多くの市民の方に利用されています。生涯学習活動の拠点施設として今後も安全にまた安心して利用できるよう、適正な維持管理や改修を進めながら学習活動を支援していく考えです。



公民館スタッフのつぎやきコーナー

▶子どもたちの後ろが石井さん



みなさんこんにちは、茂原市中央公民館に勤務しております『ジャージ王子』こと石井と申します。私は茂原市役所採用時に公民館に配属され、今年度で5年目の勤務になります。勤務5年目にもなると、公民館利用者の方々ともだいぶ親しくなり、楽しく公民館活動のお手伝いをさせていただいています。親しくなった分、利用者の方々からの要望や本音を聞くことができ、サービス向上に役立っています。

なぜ『ジャージ王子』なのかと言いますと、私が担当している公民館自主グループ連絡協議会主催の2大行事である大運動会と公民館祭りの準備の時や本番にジャージ姿で駆け回っているから… ということで、とある公民館利用者の方に名づけていただきました。

大運動会にしても公民館祭りにしても、ふだんそれ

茂原の ジャージ王子です

職員

茂原市中央公民館 主事 石井知彦さん

それぞれの自主グループで同じ公民館内にいながらも、あまり交流なく活動している方々が親睦をはかる大切な行事であるとは思っているため、そういう時こそ自主グループの方々に楽しんで交流してもらうために、大運動会では笑いを生むような楽しい競技、公民館祭りでは来場して下さったみなさんが楽しめる他にはないような企画を考えています。またその企画を考えたり、準備することを自分自身も楽しんでしまいます(笑)。

今、小学生対象の教室への申し込みが減っているという問題があります。この問題を打破できるような魅力ある教室も、今後考えていきたいと思っています。世間ではハンカチ王子やハニカミ王子が活躍していますが、私も公民館で『ジャージ王子』として、2人の王子に負けないくらい奮起したいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

スタッフ伝言板 まちより むらより、

育児の悩み解消に一役 子育てセミナー「あかちゃんと一緒に」

流山市中央公民館 TEL 04-7158-3462

子育てママのセミナー「あかちゃんと一緒に」が5月15日から連続4回講座として、流山市中央公民館で始まり、15組の親子が参加しました。ベビーカーを押して気軽に参加できるようにと、市内5つの公民館を回って開催しています。

この日の講師は、日ごろ両親学級や新生児訪問でお馴染みの小路和子さん。0歳児を子育て中のお母さんたちが集まって、悩んでいることや気になることを話し合う場となりました。

核家族化が進み、ちょっとしたことなどを「話せる・聞ける人がいない」生活の中、「離乳食はどんなものがいいの?」「夜泣きが止まない」「UVケアはしたほうがいいの?」など日常生活で、どうしたらよいのか「ちょっと分からない」ことを、気軽に話し合いました。講座は、最初3人が1グループになって「子育てしている私の気持ち」についてフリートーク。

「お母さんは自分のことを話すより、子どもの話になってしまう」など、目線が子どもに向いており自分には向かない状況を見た小路さんは「お母さんの本音



ですよ」と分析していました。

「出産はお母さんもがんばったけれど、子どもにも生きる力があるから生まれてきたのよ」と、小路さん。「子育てで悩んだとき、あかちゃんは何もできないのではなく、生きる力があるから育てていることを思い出して欲しい」と、一つひとつの日ごろの悩みに丁寧に答えていました。最後に「いいお母さんでなくていいんだという、メッセージを子育て中のお母さんに送りたい」というお話があり、お母さんたちは熱心に聞き入っていました。

読み聞かせボランティア始動

公民館図書室運営に住民の力を!

いすみ市夷隅公民館 TEL 0470-86-5000

「図書室でも活動の場があれば…」小学校の読み聞かせボランティアさんの一言がきっかけでした。ボランティアを公募してみると12人が集まり、そのほとんどが初めてという方ばかりでしたが、感謝・感謝であります。

6月に県立中央図書館児童資料室から、司書の平塚明子さんを講師として派遣していただき、読み聞かせについて実践的な研修を行いました。また話し合いの結果、今後は月1回の勉強会のほか、子ども向けおはなし会を毎月第2日曜日に行うことが決まりました。にわかづくりながらも、今、旗揚げに向かって、みなさん必死で本選びに自主練習にと、がんばってくださっています。

図書室の住民サービスが担当1人、兼務の仕事いかんにかかっているという現実。先進的図書館のある自治体と比較した時、それはあまりにかけ離れてしまっています。でも、問題山積であるならなおのこと、住民に助けていただくべきであったと、今、思います。

公民館こそ、一身の利害を超えて相互の助け合いに



よって公共社会の完成のために尽くす人を求め、人と人を結び、地域づくりを働きかける機関だということに立ち返り、これからは住民から知恵や力を出していただき、みんなで試行錯誤しながら進んでゆきたいと思いを改めました。

耳から聴くお話は、いくつになっても楽しいものです。子どもたちもその柔らかな感性で、本からたくさんのお話を吸い上げてくれることでしょう。そして、読み聞かせボランティアのみなさんが、街で会った子どもたちに「あっ、おはなしのおばちゃんだ」なんて、声をかけてもらえる日も近いのではないかと、今からワクワクしています。

持ちより公民館だより

東京湾学講座 富津市富津公民館 TEL 0439-87-8381

東京湾学講座は、地元有志自らの発案で、江戸川短大名誉教授で高橋在久さん（平成17年7月没）を中心に、平成12年にスタート。富津市を中心とした東京湾岸の自然や歴史、文化など研究し、漁業の歴史を始め、後世に語り伝えてゆべき物、観光資源として今後活用すべきものなど、多面的なことに視野を向け研究活動しています。この講座では、受講生の中から毎回講師を選んで、各自の研究テーマに基づいた発表をし、それについての質疑応答をしながら、活発な議論が展開されています。

昨年、講座の記録誌「富津岬－東京湾口の自然と人生の年輪」を受講者の手作りで行き、多くの顔を持つ東京湾の姿を紹介しています。この記録誌は東京湾岸の民俗・自然をはじめ、地元の寺社・方言・漁法などから身近な話題まで、約100ページからなり、明治時



代に東京湾内に作られた軍事要塞「海堡」を中心とする風景の様子も収録、後世に残す財産とも評価される出来ばえです。

参加者も年々増え、漁業者・教員・サラリーマン等多彩な顔ぶれがそろそろ中、方言も飛び交ってさながらお祭り騒ぎの様相。また、この講座受講者を中心とした地域の古墳群を案内する「古墳案内ボランティア」も誕生しており、参加型の社会教育のモデルケースとして、今後も活躍が期待されています。

朝早くても元気いっぱい

平成14年度から始まった学校週5日制に伴い、家庭教育の充実を図るため「自然の中で語ろう家族」をテーマに「たてやまパパママ子育て塾」を毎年開催しています。今年度は、これまでに「山のほたるを見に行こう！」「初夏の牧場探検とアイスサンデー作り！」を楽しんできました。

3回目の7月21日、この日は館山市内の坂田漁港で定置網漁業やまと丸を営む網元の海老原さんの案内で「定置網漁と魚のさばきかた体験！」を行いました。

夜が明けだした朝4時30分、眠い目をこすりながら7家族19人の小学生親子が漁港に集合。5時、日の出とともに漁船に乗り出港。海から見る洲崎灯台やカモメの群れに眠気も忘れる子供たち。定置網の現場では2隻の船が協力し合って網を引き上げ、網の中できらきら光るアジやイサキの姿に、親も子も歓声を上げて「あっ、タコがいた」「サメだー」など、にぎやかなひとときをすごしました。

約1時間後に帰港。冷えた体を温めながら、網元から定置網の話聞き「千葉県は、食べられる魚の種類は日本一。一年を通じて獲れる種類が多いので『明石のタイ』といったようなブランドができないのが残念なところ。」「魚は丸ごと買って自分でさばけば、安くたくさん食べられます。そのためにも魚のさばき方をぜひ身につけてほしい。」と語る網元の言葉にうなづくのはお母さんたち。

定置網漁と魚のさばき方体験

館山市中央公民館 TEL 0470-23-3111



さあ、いよいよ魚のさばき方体験。獲れたてのアジの刺身作りに挑戦。三枚におろし、皮をむき中骨をとり、お皿に並べる。親子で協力しながら30分ほどで完成。自作の刺身に加え、網元自らが包丁を振るった、イサキのナメロウや特製の海鮮鍋でにぎやかな海辺の食卓を囲み、和気あいあいの家族たち。帰り際に「おいしかった、ありがとう」とお礼を言う子どもたちに、網元は「また遊びに来てください」とやさしく声をかけていました。次回は「館山野鳥の森でおもちゃ作り体験！」を予定しています。

このコーナーは、地域の公民館目玉事業紹介コーナーのように見えますが、実はなんでもアリです。公民館のことや身近な話題など、お近くの広報委員までお寄せください。寄稿大歓迎です！



シリーズ・県内の
元気館

音楽と言えば...

開館20周年を迎えた
浦安市美浜公民館
Tel.047-352-8811

浦安市美浜公民館は、1987年（昭和62年）にオープンした、今年満20歳の公民館です。

施設としては鉄筋コンクリート造の3階建の建物で延べ床面積は2,409.28㎡、部屋数は全部で9室です。



▲広々としたラウンジ

玄関を入れて正面は、吹き抜けのロビーとラウンジになっており、サークル活動などの来館者や近隣住民のちょっとした談話コーナーとして、活用されています。またラウンジの一角には、個人学習ができる学習コーナーを設置しています。

各種サークル活動の募集ポスターの掲示板や図書室もあり、多くの市民に利用されています。

美浜公民館では、子どもから高齢の方まで気軽に公民館へ足を運んでもらうことを念頭に、年間30以上の主催事業プログラムを組んでいます。その中でまず紹介したい事業が「美浜ホールコンサート」になります。この事業は、公民館という場所でコンサートを開催することで身近に生演奏による音楽を鑑賞していただき、音楽に対する興味や関心を高めてもらうことを通じて市民文化の向上を図ることを目指して、15年ほど前から開催しています。クラシックからオペラ・ジャズ・ポップス・童謡まで、多彩なジャンルの音楽を取り上げています。このコンサートも昨年80目を迎え、80回記念コンサートを開催しました。美浜公民館では、このホールコンサート以外にも、幼児と保護



▲美浜ホールコンサート

者を対象とした「親子ドレミ教室」や、折々にふれてのコンサート開催など、多くの音楽にふれる機会を提供しており、

ミニコミ誌などでも、「音楽と言えば... 美浜公民館」と紹介してもらえるようになりました。



▲今年も盛況！子ども夏まつり

続いてご紹介するのは「ベイカレッジ美浜」です。この事業は、シニア世代のみなさんが様々な体験学習を通じて、地域の中で楽しく仲間づくりを行うための講座として実施しています。手軽な園芸・工場見学・手作りハガキ&絵手紙の暑中見舞い状作成などを実施していますが、メインは子ども夏まつりへの参加です。子ども夏まつりは、ベイカレッジ美浜の受講生であるシニア世代と子ども世代の世代間交流、そしてこれによる世代間の相互理解や、地域の教育力醸成を目的としています。スーパーボールすくい・金魚すくい・ザリガニつりなどのイベントの仕切りや、駄菓子・飲み物の販売などの売り子を、グループごとに責任を持って運営し、子どもたちとのふれあいの機会を創っています。ベイカレッジ受講生だけでは手が回りきらない部分では、ガールスカウトやサークルなど地域団体からの協力も得られています。3回目を迎えた今年の子どもの夏まつりも、7月24日にたくさんのお子様たちを集め、盛大に行われました。

ちばけん公民館スタッフニュース 第94号

編集：千葉県公民館連絡協議会 広報委員会

委員長：稲岡 正道（浦安市当代島公民館）

〒279-0001 浦安市当代島2-14-1

Tel.047-382-1700 Fax.047-382-1705

発行：千葉県公民館連絡協議会